

# 令和3年度事務事業評価委員会 「事務事業外部評価」



日時：令和3年8月24日（火）

午後1時00分～

場所：泉大津市役所 職員会館3階集会室



泉大津市

IZUMIOTSU CITY

## 事務事業外部評価の実施の手順

### ■外部評価の流れ

時間	内容	方法
約5分	事業内容の説明	事業を所管する課の職員から「事務事業評価シート（概要説明書）」に基づき、事業概要や要点を説明
約20分	質疑応答・議論	「事務事業評価委員」と「事業を所管する課の職員」の間で、質疑応答・議論
約5分	評価	質疑応答・議論及び各委員による評価の集計結果を踏まえ、委員長が委員会としての評価結果を示す。

※事務事業評価委員会において、効果的な議論が展開されるよう、評価事業に関連する資料は、各委員へ事前配布を行っています。

### ■評価区分

区分	内容
A. 現行どおり	大きな見直し点はなく、現行どおり継続することが望ましい。
B. 改善し継続	事業は継続するが、事業の実施手法等に改善すべき点がある。
C. 縮小	事業は継続するが、規模や対象等を縮小することが望ましい。
D. 休止・廃止	事業の休止、廃止が望ましい。

## ■評価事業一覧

番号	事業名	担当課室名	ページ
1	織編エッセイ賞事業	地域経済課	3
2	ファミリーサポートセンター事業	子育て応援課	5
3	交通安全教育・啓発事業	土木課	7

## ■タイムスケジュール ※進行状況により時間が前後することがあります。

時間	番号	事業等	担当部署
12:45	—	開場	—
13:00	—	開会	—
13:00~13:03	—	部長あいさつ	—
13:03~13:05	—	委員紹介	—
13:05~13:10	—	外部評価の概要及び進め方について	—
13:10~13:40	1	織編エッセイ賞事業	地域経済課
13:40~14:10	2	ファミリーサポートセンター事業	子育て応援課
14:10~14:40	3	交通安全教育・啓発事業	土木課
14:40~14:42		委員長による総評	
14:42~14:45		閉会	

## ■事務事業評価委員

役割	氏名	所属
委員長	平井 拓己	武庫川女子大学生活環境学部情報メディア学科 准教授
委員	中島 智	羽衣国際大学現代社会学部現代社会学科 准教授
委員	柴 恭史	桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科 准教授
委員	小橋 幸子	公募市民

(敬称略)

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集えるまちづくり	①商工業	②	地域ブランドの活用と確立
事業名	織編エッセイ賞事業	担当課名	地域経済課	

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域ブランド確立に向けた産地としての認知度向上と地域産業の活性化を図る。
(事業概要等)
関西を代表する文化人を選考委員に迎え、日本一の生産量を誇る毛布をはじめとする「繊維のまち・泉大津」の名を全国にPRするため、衣服や繊維製品に関する内容を綴ったエッセイを公募するもの。(募集期間:6月～11月) 入賞者には賞金とともに本市の特産品である毛布が贈呈されるほか、表彰式と文学フォーラムにおいて、豪華な選考委員と共に出演いただく。また、入賞作品は冊子にし、フォーラム来場者に配布するなど、事業の周知を図っている。

### 【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,998	1,760	1,970	2,227	その他特定財源:泉大津商工会議所からの事業協力金
うち市負担分(千円)	1,798	1,560	1,970	2,227	
【参考】国庫支出金					
財源内訳(千円) 府支出金					
地方債					
その他特定財源	200	200	200	200	
受益者負担・商品分布収入等					
令和2年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	報償費				1,363
	需用費				427
	使用料及び賃借料				180

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
「泉大津市オリアム随筆賞」応募件数	件	435	339	382	400
「泉大津市オリアム随筆賞」応募件数(泉大津市民)	件	13	19	11	20
「文学フォーラム及び表彰式」来場者数	人	112	-	32	100
(指標を設定できない理由)					

### (成果の概要)

関西を代表する著名人が選考委員を務めるオリアム随筆賞(衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイ)を実施し、国内生産の約90%を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることができた。  
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により例年開催している「文学フォーラム」は、参加者を大阪府内在住者限定(事前予約制)とし、選考委員と受賞者による表彰式及びオリアムエッセイ教室を実施した。また、コロナ禍で文学フォーラムに参加できなかった方に向け、文学フォーラムのダイジェスト動画を期間限定で公開した。

【これまで実施した事務の見直し点】

<p>これまでの経緯 や過去の見直し</p>	<p>平成26年度から泉大津市民を対象とした特別賞(泉大津市長賞)を新設した。 受賞作品を掲載していた上方芸能が終刊したことに伴い、大阪春秋に受賞作品掲載誌が変更となった(いずれも季刊誌)。 過去の入賞作品が私立中学の入試問題として採用された。</p>
<p>直近(3年以内) の変更点や改善点</p>	<p>変更点として選考員の変更があった。</p>

【課題(問題点)】

<p>課題(問題点)</p>	<p>より効果的な広報活動を実施し、応募者数及び文学フォーラムにおける来場者数を増加させることにより、本市の知名度を上げ、地域の活性化を図る必要がある。 また、泉大津市民の応募が少ないことから、本事業への市民の認知度を上げ、多くの方に参加いただくことにより、市民に対しても「繊維のまち・泉大津」をPRしていく必要がある。</p>
----------------	--

【今後の方向性】

<p>担当課の評価</p>	<p>A 現行どおり</p>	<p>(左記評価の理由) 繊維製品に限った内容のエッセイを募集し、その結果、国内だけでなく海外からも応募があったことから「繊維のまち・泉大津」を広くPRできた。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>市の特産品を文学賞という形でPRしていく手法は、他の自治体でも多くはなく、本市ならではの取組として好評を博しているところではあるが、さらなる効果的な事業実施に向けて、事業の新たなPR方法や応募者増に向けて検討を進める。</p>	
<p>改革・改善策等の 具体的内容</p>	<p>応募しやすい環境を整えるためにオンライン申請を導入する(令和3年度)。</p>	

<p>ご意見いただきたい視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集・応募に係る一連のPR以外による本事業のPR方法</li> <li>・応募者数の増加</li> <li>・市民の参加者の増加</li> <li>・コロナ禍でも実施できる効果的な文学フォーラムの手法</li> <li>・受賞作品掲載誌廃刊のため、代替の周知方法</li> </ul>
--------------------	--

## 事務事業評価シート（概要説明書）

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり
事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課名	子育て応援課	

### 【事業の概要】

（事業の目的・趣旨）
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、ファミリーサポートセンター事業により子育て支援サービスの充実を図り、仕事と子育ての両立を支援することを目的とする。
（事業概要等）
育児の手助けをして欲しい「依頼会員」と、手助けをしたい「提供会員」による会員同士の相互援助活動を行うファミリーサポートセンターの運営を社会福祉協議会へ委託するもの。

### 項目／年度

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額（千円）	9,102	9,382	9,721	11,066	
うち市負担分（千円）	6,836	7,116	7,855	9,200	
【参考】 財源内訳 (千円)	国庫支出金	1,333	1,333	933	933
	府支出金	933	933	933	933
	地方債				
	その他特定財源				
	受益者負担・商品分布収入等				
令和2年度事業費内訳（単位：千円）	費目				金額
	人件費				9,033
	事業費				192
	事務費				441
	負担金				55

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
活動件数	件	390	273	140	200
会員数	人	560	564	518	600
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
育児サービスの提供者と育児サービスの依頼者のニーズをもとに、活動することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

<p>これまでの経緯 や過去の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼会員の講習会は原則、福祉センターのみで行っていた。</li> </ul>
<p>直近（3年以内） の変更点や改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会はこれまで福祉センターのみであったが、南北公民館での出張講習会を行った。</li> <li>・生協の会員広報紙「アピエ」で定期講習会開催の記事を掲載していただいた。</li> </ul>

【課題（問題点）】

<p>課題（問題点）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供会員（両方会員）の新規登録者の獲得…比較的若い子育て経験者は就労する人も多く、会員につながりにくい。</li> <li>・広報啓発の周知…現在、市広報・社協いずみおおつ・泉大津子育て支援サイト・社協ホームページ・市内10か所の社協掲示板・公共施設等でポスターを貼ったり、チラシの配布を行っているが、特に提供会員になっていただく年齢層の方の認知度が低いと思われる。</li> <li>・会員の意識の向上…研修会の参加者が少ない。</li> </ul>
----------------	--

【今後の方向性】

<p>担当課の評価</p>	<p>A 現行どおり</p>	<p>（左記評価の理由） 市が実施する子育て支援事業と位置づけ、育児と仕事が両立できる環境を整備することができているため。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>より多様な形で広報啓発に努め、新規会員獲得を目指す。 会員が学びたい内容をリサーチし、研修会や交流会に結びつけていく。また、必要と思われる研修にも会員が参加しやすいようにしていく。</p>	
<p>改革・改善策等の 具体的な内容</p>	<p>サービス提供会員を増やすために、広報啓発できる機会を模索し、民間の情報誌を活用する等積極的に啓発を図る。多様化するニーズにも応えられるよう、講習会やアンケート等で内容等をリサーチし、情報交換、検討の場を設ける。</p>	

<p>ご意見いただきたい視点</p>	<p>保育所や留守家庭児童会等他の子育てサービスの充実により子育て環境が変化する中、ニーズの把握とそれを支援する提供会員の確保について、ご意見をいただきたい。</p>
--------------------	---

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	⑤	交通安全対策の充実
事業名	交通安全教育・啓発事業	担当課名	土木課	

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
交通弱者に対し、交通安全教室・研修会等を通じ交通安全意識の高揚を図る。
(事業概要等)
泉大津警察署、泉大津交通安全協会等の各種団体と連携し、市内の高校・小中学校・幼稚園・保育所・認定子ども園を対象に交通安全教室を年間50回程度開催、一般の市民の方に向けて運転者講習会を年8回、街頭啓発を9回、高齢者講習会・研修会を年間4回実施している。また、自転車用ヘルメットの購入費助成も行っている。

### 【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,249	2,441	2,051	2,972	セーフコミュニティ基金
うち市負担分(千円)	2,225	2,365	1,907	2,742	
【参考】国庫支出金					
財源内訳(千円) 府支出金					
地方債					
その他特定財源	24	76	144	230	
受益者負担・商品分布収入等					
令和2年度事業費内訳(単位:千円)	費目				金額
	旅費				4
	需用費				571
	役務費				15
	負担金、補助及び交付金				1,444
	公課費				17

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
街頭啓発参加人数	人	170	182	0	100
交通安全教室参加人数	人	5,930	5,445	1,137	5,000
運転者講習会参加人数	人	260	236	0	200
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
継続的な交通安全啓発活動及び小学校の児童に対する交通安全教室の実施により、交通安全意識の高揚を図ることができた。					



【これまで実施した事務の見直し点】

<p>これまでの経緯 や過去の見直し</p>	<p>平成26年度から、市民や行政などが一体となって本市の課題に取り組む泉大津市セーフコミュニティ交通安全対策委員会を開催しており、その中で交通安全意識と知識を向上させるための取組として、交差点通知簿を作成しており、小学校等の交通安全教室のなかでも取り入れている。 また、平成27年度から、各企業と合同で小学校の仲良し学級を対象とした交通安全教室を実施している。 高齢者の自転車用ヘルメットの着用促進を図るため、市内在住の65歳以上の高齢者を対象に、自転車用ヘルメットの購入費助成を平成27年度より実施している。</p>
<p>直近(3年以内) の変更点や改善点</p>	<p>自転車用ヘルメットの購入費助成について、令和元年10月から、高齢者だけではなく小学6年生までの児童についても補助金の交付対象に含めることとした。 交通安全教室で使用するDVDのバリエーションを増やした。</p>

【課題(問題点)】

<p>課題(問題点)</p>	<p>コロナ禍において、交通安全意識の高揚を図る街頭啓発や運転者講習会が実施できていない。</p>
----------------	---

【今後の方向性】

<p>担当課の評価</p>	<p>A 現行どおり</p>	<p>(左記評価の理由) 交通安全に関する意識を高め、交通事故を減らし、防止するためにも、啓発活動は継続していく必要がある。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>引き続き、泉大津警察署・交通安全協会等の各種団体と連携し、交通マナーに対する市民の意識向上を図る。</p>	
<p>改革・改善策等の 具体的内容</p>	<p>コロナ禍において、運転者講習会が実施できない場合は、受講希望者に資料等を配付し、安全運転の啓発に努める。 街頭啓発については、これまでのように啓発品を手渡しにて配付せず、机等に並べ啓発品を取ってもらうように促す。 交通安全教室については、小学校の場合は屋外(校庭)にて間隔をとって実施し、幼稚園等の園内(建物内)で行う場合は、参加人数を制限し、できるだけ密にならないようにして実施する。また、現地での実施が難しい場合は、各学校や園等に交通安全のDVD等を貸し出す。</p>	

<p>ご意見いただきたい視点</p>	<p>コロナ禍における各種啓発活動や講習会等については、参加人数を制限したり、できる限り密にならないような状況下において行うなど、可能な限り何らかの形で実施するようにはしていますが、その他、より効果的に実施できる方法等についてご教示いただきたい。</p>
--------------------	---